

福島の子供たちと交流会 比嘉老人クラブ

福島の子供もたちの保養施設「球美の里」の94次保養の子供たちと、比嘉老人クラブとの交流会が、8月9日に比嘉公民館で行われました。

小中学生50名が参加し、老人クラブのみなさんと室内ゲームを行いました。ボウリングやディスクゴルフなどに子供たちは大喜び。老人クラブのみなさんも孫と遊んでいるような、お互い笑顔があふれる楽しい時間を過ごしました。



大型SUPで海を楽しむ 海賊王と海の教室

9月2日、島尻ビーチで「海賊王と海の教室」(共催、久米島ホテルの会・町観光協会)が行われました。親子連れ約80人が参加し、サップ体験やクルマエビなど久米島の海の幸の昼食を堪能しました。これは、海洋連盟(事務局・東京)が「海に人が集まれば、日本はもっと楽しくなる。」というビジョンで取り組まれているブルーアクションの一環で行われたもの。海の教室は「海を学ぶ、感じる、知る、食べる」の四つのテーマを掲げて今年も全国3か所で開催しています。



みどり丸遭難犠牲者を追悼

銭田森林公園内「みどり丸遭難犠牲者慰霊の碑」前で8月17日、追悼法要が執り行われました。訪れた関係者は安らかに手を合わせました。

「みどり丸」は当時、那覇と久米島を結ぶ定期貨客船で1986年8月17日、那覇泊港から久米島へ向けて出港し、那覇沖合の海上で沈没。228人の乗客中、死者86人、行方不明者26人の犠牲者が出た沖縄海難史上最大の事故とされています。



大学生が離島行政を学ぶ 前津ゼミ

沖縄国際大学法学部法律学科の前津榮健教授のゼミを受講する学生ら約20人が、8月20日「現地行政調査」の一環として久米島町役場を訪れました。学生らは久米島町長や離島行政、観光行政、教育行政の担当者と意見交換会を行い、久米島町の現状や離島行政の課題などについて学びました。人口減少対策・労働力の確保、観光振興や災害対策などを質問し、熱心にメモを取る様子が伺えました。



球美の日

9月3日は「球美の日」

平成22年に9月3日を久米島観光の日(球美の日)と定め、久米島観光の振興に取り組んできました。今年も9月2日にセレモニーを開催し、大田町長をはじめ関係者が参加し、久米島の観光振興の発展に向けて確認しあいました。

セレモニーに先立って、午後4時よりワカチャラが幼少期を過ごしたゆかりの地をガイドと訪ねるワークショップを行いました。また、9月3日は「く〜みん」の誕生日でもあり、セレモニー参加者全員で誕生日を祝いました。



久米島ファンが大集結!

球美友結の会

7月16日に東京都・中野サンプラザホテルで久米島ファン約100名が参加し「球美友結の会」が行われました。今年も久米島から大田町長をはじめ約20名が参加しました。本会は久米島観光大使の大久保さんや森さんを中心とする有志のメンバーが中心となり3年前から開催。「久米島ファンを繋いで、拡げたい」「久米島ファンの想いを島に伝えたい」という想いが実り、年々参加者が増加しています。



みんなで笑ってチャージンジャー 久米島町敬老会

9月12日、具志川改善センターで久米島町敬老会を行いました。会場には70歳以上の町民、約400人が出席しました。今年も余興に島外ゲストによる民謡ショーが披露されました。山川まゆみさんが率いるゆいゆいシスターズの透き通る歌声と、島唄少女テンの子供たちの歌や踊りに、参加者の顔からは笑みがこぼれました。テンはメンバーの一部7才から16才の4人が元気いっぱいに歌や演舞を披露しました。



ハワイからの帰国報告 久米島ハワイ交換留学

ハワイ交換留学に参加していた久米島高校の生徒3名が、8月27日に町長、教育長らに帰国報告を行いました。ハワイ交換留学は、毎年8月に3週間、生徒を派遣するプログラムで、前村幸秀人材育成基金を利用し、費用の9割を町が負担しています。参加者の窪優月(くぼ・ゆづき)さんは「食生活など、文化の違いが新鮮だった」と報告。留学を経てたくましくなった生徒たちに「学んだことを生かして、久米島にも貢献してほしい」と大田町長は激励の言葉をかけました。

